



のどかな田園都市守山市のまるごと活動

守山市 農政課

守山市は、滋賀県南部、琵琶湖の東南部に位置し、面積は55.73 km²で、市内に山が無く、東部から西部に向かって緩やかな傾斜をなす平坦な土地が特徴です。

現在、共同活動に12組織が取り組まれ、活動面積は847haです。平成24年度から開始した2期対策では、1期対策に参加した



全ての集落に加えて、新たに2組織が活動に取り組み、活動面積は130haの増となっております。

向上活動においては、2組織が取り組まれ、活動面積は205haです。

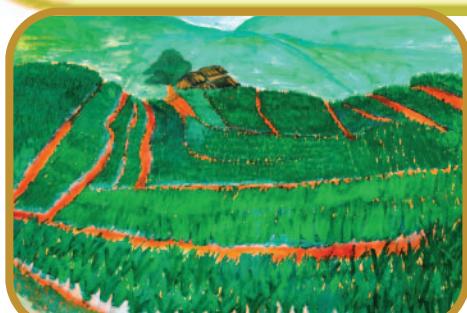
各集落ではそれぞれ、数年後には農業者・農家戸数が激減し、草刈りや清掃など農村集落の維持は農業者だけではできなくなるという思いがあり、各集落とも非農家を含めた地域住民全体で、「自分たちの集落を守ろう」という機運が高まり、地域住民が一丸となり様々な活動を実施しています。

田園の生きものを育む取組み、田園景観を守り育てる取組みに力を入れられておりました。その活動の1つとして、ニゴロブ

編集後記

★平成26年度から『まるごと』が新しくなりました。様式の変更などで役員の方にはご迷惑をおかけしますが、交付金の単価がアップしますので、有効にご利用いただきますようよろしくお願いします。 (A.W)

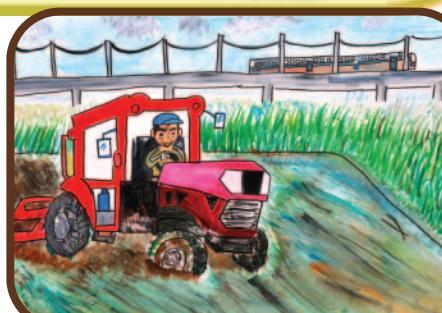
田んぼだいすきふるさと農村こども絵画コンクール入選作品



★湖東支部長賞
『大中尾の棚田』
大前 聰里さん（彦根市）



★湖北支部長賞
『我が家の畑』
小川 夏佳さん（長浜市）



★高島支部長賞
『トラクターに乗るぼくのおじいちゃん』
山口 秀樹さん（高島市）

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

- 本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- 書類作成にかかる参考資料や活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

<http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html>

Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

農村まるごと



まるごとだより 第29号

にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



目 次

☆人・生きものにぎわう農村づくり実践研修会を開催しました



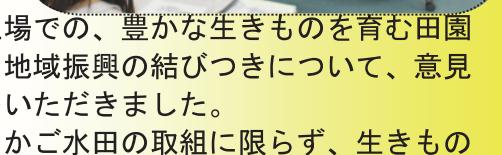
◆基調講演◆

東京農業大学 農山村支援センター 事務局長の竹山 純一氏（左写真）より「生きものの発見からはじまる生活文化の交流」と題しまして基調講演をいただきました。過去の田園自然再生活動コンクール受賞地域の活動事例を交えながら、『自然と共生する農村づくり』について説明いただきました。



◆パネルディスカッション◆

「人も生きものにもぎわいあふれる農村を次世代につなげていくために」をテーマとして、基調講演いただいた竹田先生、地元で、『魚のゆりかご水田米』づくりに取り組んでおられる活動組織の方と、琵琶湖博物館の職員の方、それぞれの立場での、豊かな生きものを育む田園地域と地域振興の結びつきについて、意見交換をいただきました。



ゆりかご水田の取組に限らず、生きもの観察会など、手軽にできて身近に感じる活動から始めて、自然環境活動に無理なく継続的に取り組むことが重要です。



☆のどかな田園都市守山市のまるごと活動（守山市）

発行 (2014. 6)

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

〒521-1224
東近江市林町601番地
電話 0748-42-4806
FAX 0748-42-5574
Email: kyougikai@shiga-nouson-marugoto.com

豊かな生きものを育む水田づくり懇話会を開催しました

平成26年3月6日(木)、甲賀市甲賀町小佐治において、『豊かな生きものを育む水田づくり懇話会』を開催しました。

「滋賀県交付金制度審議会委員」の皆さんのご参加により、中流域での実践活動を現地に赴き視察をした上で、地元の活動組織の方と取り組み拡大に向けた課題整理のための意見交換をしました。





彦根市のまるごとの取り組み紹介

彦根市 農林水産課

彦根市は琵琶湖の東岸に位置し、その湖面には、豊かな四季の移り変わりや、長い歴史の歩みが映し出されてきました。

一方、東には緑豊かな鈴鹿山脈が連なり、ここに源を発する芹川、犬上川、宇曽川、愛知川等が、肥沃な穀倉地帯を平野部に形成しながら、琵琶湖に注いでいます。

気候は瀬戸内式気候区の東端にあたる一方、冬季は北陸型の気候となり、強い北西の季節風による降雪もあります。しかし、琵琶湖の影響により、夏、冬の気温の変化は緩和され、穏やかな過ごしやすい地域と言えます。

お知らせ

★「まるごと」の活動で傷害保険に加入する際にご注意ください。

◆草刈りや泥上げなどの「まるごと」の活動中の怪我や事故に備えて、傷害保険に加入いただいていることがあります、保険の種類によっては、日当が支払われる活動に対しては、保険に加入することができない場合があるようです。

もちろん、怪我等がないようにご注意いただくことが第1ですが、万が一の場合に備えて今年度に加入する予定の傷害保険について、保険会社にお問い合わせの上、契約条件の確認をしていただき、トラブルがないようにお願いします。



ソツによる雑草対策、ニゴロブナの稚魚の放流を通じた農村環境や生態系に関する啓発活動など、各活動組織とも特色ある活動を実施されている一方で、高齢化に伴う後継者不足等により年々農家数が減少して遊休農地が増えたり、活動組織の役員のなり手が見つからず、活動自体の存続にも課題のある組織が出てくるなど、「まるごと」を取り巻く状況は年々変化していっています。

本市における「まるごと対策」の取り組みは、共同活動については42の活動組織が、新たに「農地維持支払」と「資源向上支払」の2階建てになり、より取り組みやすい形に変更され、新たな取り組み組織の開拓を通じて、多くの集落に新しい「まるごと」活動に取り組んでいため農道や用水路の清掃作業や、集落周辺環境を利用した生きもの観察会や学校教育等との連携を通じて、農家、非農家の別なく、世代をこえてにぎわいある農村を守り育していく活動に取り組まれています。

また向上活動については、2つの活動組織で、約180ヘクタールの農振農用地を対象に、水路沿いに植栽を行って土壌の流出防止を図るなど、高度な農地・水の保全活動に取り組まれています。

平成19年度より始まった本対策も、平成25年度で足掛け7年を迎え、景観形成の一環としてのひまわりの作付けに係る地域の交流活動や、グランドカバープラ



わたしたちもがんばっています！

鵜川みずすましネット

代表 西村 茂和（竜王町）

3. 小学生の水田学習会

毎年、近くの小学校の校外学習の一環として当地域内で「水田プランクトンの観察」、「透視度計での透視度試験」、「ため池での生物観察会」などが実施されています。子どもが自然に肌で関わることが少ない昨今、体験を通じて自然との共存の大切さに关心を持つ良いきっかけになるように念じています。



当自治会は、竜王町西部中間地域にあり戸数43戸で3地域にまたがる約33haの農用地において共同活動、向上活動を展開しています。構成員は、当自治会員以外に近隣2自治区の10戸も含んでいます。

本事業も1期5年の2期2年目も終わりを迎えようとしています。取り組みは、共同活動（高度な取り組みを含む）と2期目は向上活動にも取り組んでいます。以下、当組織の主な取り組み事業を紹介します。

【共同活動（高度な取り組み含む）】

1. 「たつろう」（取水口）の保全

竜王町七里地先の善光寺川中にある先人が守ってきた今では珍しいと思われる施設「たつろう」と呼んでいる取水口は昔から周辺集落の灌漑用水として大変有益な施設であり今もその恩恵をこうむるところには大きいものがあります。日頃は、取水効率をよくするため年に数回周辺の草刈りや土砂・ゴミの除去を行っています。



2. 幹線排水路の清掃作業

当地区には、循環灌漑池があり池に排水を取り込む幹線水路延長が地域内では約800mに及びます。幹線水路は、泥の堆積や水草の繁茂が激しく河床の泥上げ等をしなければ機能を発揮しません。そこで、毎年約200m位を順繰りに構成員が総出で清掃作業を行っています。実施にあたっては重機とダンプを借り受け、構成員を午前・午後に分けて適材適所で効率よく作業を行っています。今では幹線排水路河床の水草の繁茂も少なく、川辺の草も刈り取られ機能・景観共に適切に維持されています。



【向上活動】

1. 用水路改修工事

先に紹介した「たつろう」や琵琶湖揚水用給水路の漏水がひどく、周辺の耕作地は、年中湿田状態で大型農機具でも身動きが取れない状態となっていますが、総延長285.9mの用水路全面へのFRP樹脂による防水防食被覆処理を今期5年間で取り組んでいます。

工事は、下流側から実施していますが1年目で取り組んだ57.5mの区間における効果は著しく、湿田状態が一気に解消され作業性や土壤改善ができました。

この事業への取り組み当初は、地域には、非農家もあり非農家からは、名前からくるイメージから農家の事業になぜ？という思いもあり、この事業の本質的理解に努めたこともありましたが、今では農村まるごと保全の意義も理解が得られ地域全体で取り組めていると感じています。

今後は、住民の高齢化が進む中で如何にしてこの事業を継続していくかが新たな課題となりそうですが、豊かな自然環境は潤いある生活には必要であり地道に継続できる知恵を出し合っていきたいと考えています。

田んぼだいすきふるさと農村こども絵画コンクール入選作品



★大津・南部支部長賞
『おいもいっぱいどっこいしょ』
小山 朋華さん（栗東市）



★甲賀支部長賞
『田んぼと農薬散布ヘリコプター』
廣岡 利来さん（甲賀市）



★東近江支部長賞
『ある週末の朝。』
坂野 愛さん（近江八幡市）